



# どんぐり通信

# 長

河野 裕『いなくなれ、群青』(新潮社刊) 913.6/コウ/YA

捨てられた人たちの島、「階段島」。この島を出るにはなくしたものを見つけるにはなければならない。誰よりも真っすぐで、正しく、凛々しい少女・真辺由宇と再会した七草は、彼女に巻き込まれるかたちで「階段島」にまつわる謎を解き明かそうとするのだが…。青春ミステリ、「階段島」シリーズの第1作です。【全6巻完結】



# 編

イッキ読み？

じっくり読み？

# 小



ミシェル・ペイヴァー『クロニクル千古の闇 1  
オオカミ族の少年』(評論社刊) 8°//YA

さくまゆみこ 訳 / 酒井駒子 絵

紀元前4000年の太古の森。悪霊にとりつかれた巨大なクマに襲われ、失った父との誓いを守るため、旅に出たトラク。弟分の子オオカミ・ウルフとともに<天地万物の精霊>が宿る山を目指す冒険の物語です。【全9巻完結】



# 説

上橋 菜穂子『香君 上』(文藝春秋刊) 913/ウ1/YA

遙か昔、神郷からもたらされたという奇跡の稻、「オアレ稻」により帝国は発展したが、あるとき虫害が発生してしまう。植物や昆虫の声を「香り」で聞くことができる少女・アイシャが、オアレ稻の謎に立ち向かうが…。科学や政治の要素も楽しめるファンタジー小説です。【上下巻完結】